

美作地方で最も古い寺院の跡  
久米廃寺跡



指定区分	県指定史跡
読みかた	くめはいじあと
所在地	津山市宮尾
指定年月日	昭和52年4月8日
解説	7世紀後半の白鳳時代創建の寺院跡。美作地方で最も古い寺院の遺構であり、主要伽藍は塔を中心に東側に金堂、西側に講堂を配置した独特のものである。平安時代前半に廃絶したとみられる。東隣にある宮尾遺跡からは同年代の掘立柱建物群と柵列が発見され、久米郡衙跡と推定されている。
アクセス方法	道の駅「久米の里」すぐそば
公開状況	自由
設備	
備考	久米町歴史民俗資料館(問:0868-57-2936)で出土品等が展示されている。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	久米廃寺跡
よみかた	くめはいじあと
しょざいち (所在地)	津山市宮尾
していしたひ (指定した日)	昭和52年4月8日
せつめい	美作地方(みまさかちほう)でもっとも古いお寺(てら)の跡(あと)です。7世紀(せいき)のおわりごろに建(た)てられました。中心(ちゅうしん)的な建(た)てもの(たてももの)が東(ひがし)西(にし)の配(はい)置(ち)にならび、独(ど)特(とく)の配(はい)置(ち)だ(た)ったこ(こと)が確(た)か(かく)に(にん)さ(さ)れていま(いま)す。平(へい)安(あん)時(じ)代(だい)(へいあんじだい)の初(は)じめ(じめ)に火(か)災(さい)に(よ)って焼(や)け(け)てしま(しま)ったと(と)い(い)わ(わ)れていま(いま)す。